

ほうかごじどう うんえいししん
放課後児童クラブ運営指針
じどうかん
児童館ガイドライン

が変わりました！

運営指針・ガイドラインってなあに？



「放課後児童クラブ運営指針」や「児童館ガイドライン」とは、みなさんの遊びや生活を支える放課後児童クラブや児童館しょくいんの職員の方が読む、「ガイドブック」のようなものです。

こどもたちがせいちょうすこやかに成長し、あそ安心して遊んだり生活したりできるようにするために、どんなことを大切にすればよいかについて書いています。



こども家庭庁では、この放課後児童クラブ運営指針・児童館ガイドラインを
今までよりさらによいものにするために、こどもたちから出てきた意見*を、
大人の会議*に出して、話し合いをしました。

「大人の会議」とは、

こども家庭審議会かていしんぎかいこどもの居場所部会いばしょぶかい
「児童厚生施設及び放課後児童クラブに関する専門委員会じどうこうせいしせつ およ かん せんもんいいん
会かい」のことで、この委員会の中で、こどもたちの意見を
ふまえ話し合いを進めていきました。

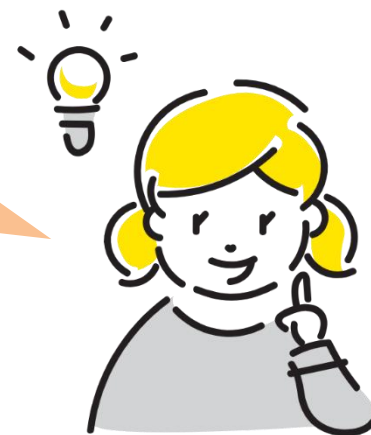
令和6年6月に放課後児童クラブ600か所、児童館
107か所にアンケートをおこない、利用している
こどもたちから意見をいただきました。アンケートの
結果はこども家庭庁のホームページにのせています
のでぜひ、こちらをごらんください。



こどもたちからは主にこのような意見が出ました。

放課後児童クラブについて

- 職員（先生、スタッフ等）に話を聞いてほしい。
- おやつをもっと増やしてほしい。
- 友達と仲良く遊びたい。
- 宿題をやる時間と環境を確保してほしい。



児童館について



- ボールやおもちゃをもっと増やしてほしい。
- 体育館のような遊べる場所がほしい。
- 同じ職員の方にずっといてほしい。

次のページからは、どのように変わったかをお伝えします。

放課後児童クラブ運営指針・児童館ガイドラインのどちらにも

「こどもの^{けんり}権利」について書き加えました。

こどもはだれもがみんな、“生きる権利” “^{まも}守られる権利” “^{しゃかい}社会
に^{さんか}参加する権利” “^{あそ}遊ぶ権利” などの権利をもっています。

こどもの権利について、たとえばこんなことを書いています。

○こどもの権利を広めよう

こどもには大切にされたり、自分の意見を言っ
たりする権利があります。このことを、こどもや^{かぞく}家族、
^{ちいき}地域の人たちに伝えます。

○おとながしっかり勉強しよう

児童館や放課後児童クラブで^{はたら}働く大人が、こ
どもの権利についてしっかり^{まな}学ぶようにします。

○こどもの意見を大切にしよう

こどもの「こうしたい」「こう思う」という意見や気
持ちは聞いて、それを活動やルールに^い活かします。

「話を聞いてほしい」
という意見を反映しました。
^{はんえい}

○こどもが困ったときの^{たす}助け方を ^{かた}決めよう

こどもが^{こま}困ったときやいじめられたときに、どう助
けるかを決めて、こどもたちに^{おし}教えます。

下線部分:こどもの意見から取り入れた部分

さらに、放課後児童クラブ運営指針

には、こんなことも書き加えました。

○おやつやお昼ごはんを大切にしよう

おやつやごはんを食べる時間は、友だちや先生といっしょに話すきっかけとなるなど、こどもにとってとても大切です。

「おやつをもっと増やしてほしい」という意見を踏まえました。

○安全で安心できるクラブにしよう

大きなけがなどの事故が起きないようにするための方法や、地震や大雨の時にどうすべきかを事前に決めます。



○学校や地域と協力しよう

クラブと学校、地域の人たちが力を合わせ、みんなでこどもたちの生活を支えます。



○障害のある子どもたちをサポートしよう

サポートを必要とする子どもたちのために、専門家や他の助けてくれる場所と協力します。



他にも、

児童館ガイドライン

には、こんなことも書き加えました。

○こどもの権利を知ってもらおう

こどもには大事にされる権利があります。
このことを地域の人たちにもわかりやすく
伝えるようにします。



○遊びが大事

遊びを通して、みんなが助け合ったり元氣
になれる活動を増やします。

「ボールやおもちゃをもっと増やしてほしい」
「体育館のような遊べる場所がほしい」
という意見を踏まえました。

○新しい居場所をみんなで作ろう

インターネットを使って、こどもたちが集まる
新しい居場所を作ることや、地域でこどもの
居場所を作るための手助けをする人を増や
すことにチャレンジします。

○交通事故からこどもを守ろう

遊びを通して、交通安全について学ぶこと
で、身を守れるようにしたり、事故が発生しな
いようにしたりします。

